



ショーボンド建設（株）担当技術者 木寺 凜（きでら りん）

平成29年度国道298号三郷放水路橋耐震補強工事



構造物の保守や総合メンテナンスに定評のあるショーボンド建設株式会社。

大学でコンクリートの耐久性に関する研究を行い、そこから土木構造物の寿命に興味を持ち、その中でも特に維持・補修の仕事をしてみたいと考えようになったことから木寺さんはこの仕事を選んだという。

「入社してからは管理業務の多さに驚きました。今の現場は4箇所目なのですが、これまでどの現場に行っても特に安全に関しては皆一体となって丁寧に取り組んでおり、その大切さ・重要さを今感じています。」



「今回の現場では、日々の安全管理・品質管理・出来高管理に従事していますが、予定していたものが長い時間をかけてようやく形になった時はとても充実感があります。」

過去には仕事の段取りがうまくいかず、そのために業者さんに二度三度と手間をかけさせてしまったことがあり、その時は本当に申し訳なく思ったそう。

「早く一人前となって橋梁補修の現場を一人で任せられるようになりたいです。」

そういった仕事の面から、社会に貢献していきたいと思っています。」

休日はゴルフ、平日は映画鑑賞

子供の頃はわりとおとなしい方だったが、外で遊ぶのは好きで、毎日外でばかり遊んでいた。

学生時代にはサッカー部に所属し、強豪校に勝利したこともあるそうである。

現在の趣味はゴルフと映画鑑賞。ベストスコアは121。

家の中よりは外にいる方が好きなので休日とは出かけることが多いそうだが、平日は家で撮りためたドラマや映画をよく観ているとのこと。

最近のおすすめを聞くと、「正義のセ」「スウィングガールズ」と教えてくれた。

「いつ見ても明るく笑顔になれる作品です。」

建設業の魅力とは

最後に、建設業の魅力についてうかがってみた。

「仕事の成果が実際に橋や道路などの形となって、身近なものとして残っていくことだと思います。」

今はまだ上司や業者の方々に助けられることばかりですが、将来は一人前となって、日本の将来を土木インフラの観点から支えていけるような社会人になろうと思います。」

同世代や後輩に対してのメッセージをお願いしますと、

「最初は覚えることがたくさんあり大変かもしれませんが、いつか自分が立派な建設マンとして社会に貢献できるようになるためのステップだと思って、一緒に頑張っていきましょう。」

上司の方にうかがっても「誰にでも笑顔で接し、仕事もできる」高評価の木寺さん。

厳しい業界の中で頑張っていく姿に期待されています！



プロフィール

長崎県長崎市出身 23歳

家族は両親、姉の4人家族

現在は千葉縣市川市で一人暮らし

得意料理はパスタ（簡単なのでよく作ります）

学生時代はサッカー一部所属